

白ネギ

第1回（追肥、土寄せ）



肩の部分に肥料を施し、土と混ぜながら溝に落とす。

第2回（追肥、土寄せ）



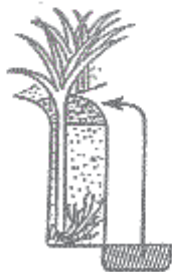
1回目の1ヵ月後

第3回（追肥、土寄せ）



2回目の1ヵ月後

最終回（土寄せ）



収穫の
約40日前

根深ネギの土寄せによる軟白化

長くて白い軟白部（葉鞘部）を賞味する根深ネギは、主に関東で作られていましたが、近年は西日本や東北、北海道へと産地が広がっています。

葉ネギが西日本から全国的に広がったと同様に、全国的に消費されるようになり、家庭菜園で取り組む人たちも増えてきました。

そんな方のために、今後の土寄せ軟白について説明します。

【方法】夏の暑い最中に苗を植え付けたネギは、10～11月にはいると、まさに伸び盛りの時期に入ってきます。

ここで十分に肥料を効かせて生長を促すとともに、長さを増してくる葉鞘部を、全部軟白にして、長い軟白部に仕上がるように、土寄せを適切に行うことが大切です。

図に示したように、第1～2回の土寄せは、植え溝をすだいに埋めてくることになります。

第3回～最終回までの土寄せは、通路の土を掘り下げながら伸びたネギに土を寄せ上げていくような要領でおこないます。

この場合に注意すべきことは、一度にたくさん寄せすぎないことです。

寄せ過ぎると伸長、生長を抑えてしまうので、葉身の付け根の位置以下にとどめておくようにします。

最後の土寄せは葉身が少し埋まるくらい十分の量を、葉の間でできるだけ隙間ができないよう丁寧に作業をします。

その時期は、冬の低温期の軟白所要日数は約40日であることを考えに入れて、収穫目標日の約40日前とします。あまり早くに最終土寄せをしてしまうと軟白部の長さが短く、収量も減る結果となります。

収穫を何回かに分けておこなう場合には、最終の土寄せ日も分けるようにするのが合理的です。

最近では土ではなく、遮光資材で列を挟むようにして軟白する方法も実用化されてきました。